

chemSHERPA回答を作成する上での留意事項 (chemSHERPA Ver.2 対応)

浜松ホトニクス株式会社
本部環境委員会事務局

2022.02.25

目次

- 当社からの支給材がある場合
- ニッケルの取扱い
- セラミックやガラス中のSVHCの取扱い
- めっき製品の部品・材質構成について
- Articleフラグについて
- 成形品（アーティクル）への変換工程について
- chemSHERPA回答の作成にあたり

当社からの支給材がある場合

当社からの支給材がある場合 基本情報画面と成分情報画面における支給材の取扱い

chemSHERPA 基本情報画面

- 支給材を除いた製品質量を記載
(例) 支給部材として端子 (5 g) があった場合、業者自弁財のケーブル質量 (15 g) を製品質量として記載すなわち、支給材を除いた製品質量 (15 g) を製品質量欄に記載
- 「支給材あり」とコメントに記載

全 選 択 <input type="checkbox"/>	成分	選法	製品情報							
			製品名	製品品番	メーカー名	質量	質量単位	報告単位	コメント	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	表示	表示	ケーブル2 (支給材の端子付き)	CABLE_0002-XXX	MI 製作所	15	g	個	支給材あり

chemSHERPA 成分情報画面

- 支給材の情報は記載しない
(例) 支給部材として端子 (5 g) があった場合、端子の情報は記載せず、自弁材であるワイヤーと被膜のみを記載

■ 成分情報 画面										成形品ツール				
製品品番		CABLE_0002-XXX			確定日時					対象エリア		IEC62474		
製品名		ケーブル2 (支給材の端子付)			製品質量		15g			※ctrl+マウススクロ				
成分情報										物質情報更新		行削除	全クリア	
階層	部品		材質				物質							
	名称	員数	名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位	コメント	物質	CAS番号	材料あたり最大含有率(%)	コメント
	<input type="button" value="行追加"/>		<input type="button" value="行追加"/>		<input type="button" value="選択"/>	<input type="button" value="行追加"/>					<input type="button" value="選択"/>	<input type="button" value="行追加"/>		
1			ワイヤー	3	1.母材	R311	銅(例,ケーブ...	3.3	g		Copper (Cu)	7440-50-8	99	
2			被覆	1	2.被覆	P514	PVC	5	g		Polyvinyl chloride	9002-86-2	60	
3											Bis(2-ethylhexyl) ...	117-81-7	15	

当社からの支給材がある場合 基本情報画面と成分情報画面における支給材の取扱い

成分情報の質量カバー率	chemSHERPA-AIツールのアラートレベル	当社がサプライヤに求める質量カバー率
成分情報における材質質量の合計が、基本情報における製品質量の110%を超える場合	エラー (正式な回答データとして出力不可)	× (回答データと認めません)
成分情報における材質質量の合計が、基本情報における製品質量の100%を超えて110%以下となる場合	警告 (警告表示はするが、正式回答データ(承認済みのデータ)として出力可能)	○ (回答データとして認めます)
成分情報における材質質量の合計が、基本情報における製品質量の90%を超えて100%以下となる場合	正常 (正式回答データ(承認済みのデータ)として出力可能)	○ (回答データとして認めます)
成分情報における材質質量の合計が、基本情報における製品質量の90%未満となる場合	警告 (警告表示はするが、正式な回答データ(承認済みのデータ)として出力可能)	× (回答データと認めません)

chemSHERPA-AI Ver.2.00.00aより、100.01 %

当社からの支給材がある場合 環境管理物質予備調査表との製品質量の考え方の差

当社のグリーン調達調査の回答書式は、chemSHERPA-AI以外にも、環境管理物質予備調査表があります。環境管理物質予備帳表とchemSHERPA-AIでは、製品質量における支給材の取扱いが異なります。



chemSHERPA-AI基本情報画面の「製品質量」欄には、前述の通り、**支給材質量を除いた製品質量**を記載してください



環境管理物質予備調査表の「1pcsあたりの質量」欄には、**支給材質量を含めた製品質量**を記載してください

[部品の基礎情報]			
部材名称	ケーブル2(支給材の端子付き)	1pcs(または1m)あたりの質量	20 [g]
型番	CABLE_0002-XXX	添付書類	2 有 () 無
メーカー名	MI製作所		

(例) 支給部材として端子(5g)があった場合、ケーブル質量(15g)と合わせた製品全体の質量(20g)を記載

ニッケルの取扱い

ニッケルの取扱い

成分情報画面 = ニッケルの含有情報を記載

当社お願い事項

成分情報画面では、機密情報に抵触しない限りで、サプライチェーンを通じて把握した全構成・含有化学物質情報を記載してください。

ニッケルの場合も同様に、成分情報画面に含有情報を記載してください。なお、ニッケルはchemSHERPA管理対象物質に収載されています。管理対象物質は法規制等の対象となっている物質であり、サプライチェーンを通じて情報伝達が必要です。この限りにおいて、機密情報には該当しないと判断してください。

部品		材質					物質			任意報告
名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位	物質	CAS番号	材料あたり 最大含有率(%)	<input checked="" type="checkbox"/> 一括
行追加		選択	行追加				選択	行追加		該当
リードフレーム	1	1.母材	R312	鋼合金	90	mg	<input type="checkbox"/> Copper (Cu) <input type="checkbox"/> Iron	7440-50-8 7439-89-6	97 2.4	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
めっき	1	6. (表面処理...	S002	ニッケルめっき	0.1	mg	<input type="checkbox"/> Nickel	7440-02-0	100	<input type="checkbox"/>

ニッケルの取扱い 遵法判断情報画面

= ニッケルの情報は伝達しないことを推奨

当社お願い事項

成分情報画面では、機密情報に抵触しない限りで、サプライチェーンを通じて把握した全構成・含有化学物質情報を記載してください。

(ニッケルの含有情報を、成分情報には入力する)

一方で遵法判断情報画面においては、対象物質ごとに設定される「報告用途」と「報告閾値」に照らして含有判定を行ってください。

ニッケルの「報告用途」と「報告閾値」はそれぞれ、「長時間皮膚に接触する可能性のある製品」と「意図的添加」となります。ここでの報告用途は主に、アクセサリー中のニッケルを想定しており、一般的な電気電子機器であるならば除外できます。当社は遵法判断情報におけるニッケルの含有判定を、「N」とすることを推奨しています。

(ニッケルの含有情報を、遵法判断情報では伝達しない)

対象物質		判定対象	報告用途	報告閾値	含有判定
CAS番号/物質群ID	物質/物質群	<input checked="" type="checkbox"/> ONのみ表示 クリア			<input type="checkbox"/> Yのみ表示 一括N
SG047	ニッケル/ニッケル化合物	<input checked="" type="checkbox"/>	長期間皮膚に接触する可能性のある製品	意図的添加 [報告レベル: 製品]	N

セラミックやガラス中のSVHCの取扱い

セラミックやガラス中のSVHCの取扱い JEITAのガイドラインを参照

2014年11月1日

電子部品中の セラミックおよびガラス 物質表記 に関するガイドライン

第3.1版

2014年11月

一般社団法人 電子情報技術産業協会
電子部品部会
CSR委員会
部品環境専門委員会

<注釈>
このガイドラインは、一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 電子部品部会
CSR委員会、部品環境専門委員会が、データ取扱いに並列して、作業員への健康被害
を防止することを目的として策定したものであり、あくまで参考資料です。従って、本
ガイドラインの掲載につきましては、必ずお社の規定とご照会ください。また、本
ガイドラインの掲載につきましては、必ずお社の規定とご照会ください。
なお、適用している法規制等の改正など、業務内容等によりガイドラインの適用と異なる
内容の取扱いがあった場合は、本ガイドラインの適用と異なる対応が必要となります。

JEITAガイドラインの要旨

セラミックやガラスはUVCB（組成不定の物質）のため、REACHの情報伝達義務の対象ではない。例えば、酸化鉛（PbO）はSVHCとして指定されているが、セラミックやガラスと溶け合ったPbOは化学反応により別の物質に変化し、有害性の観点からPbOそれ自体と同一視できるものではない。よって、セラミックやガラス中のPbOは、SVHCとして伝達される必要はない。

一方、PbOは鉛化合物であり、鉛化合物はEU-RoHS指令でも規制される。前述の通り、セラミックやガラスはUVCBであり、実際の物質の特定は困難であるが、適用除外用途を含む規制への該非判定には有効な情報であるため、ガラスの構成成分としてPbOは伝達されることが望まれる。

上のJEITAガイドラインの内容を踏まえ、chemSHERPA-AIにおけるセラミックやガラス中のSVHCの表記方法を次ページのように定める。

セラミックやガラス中のSVHCの取扱い

JEITAのガイドラインに基づくchemSHERPA-AIの表記

	法令		chemSHERPA-AI	
	REACH報告義務の対象	RoHSの対象	成分情報画面	遵法判断情報画面
セラミックやガラス中の酸化鉛 (PbO)	<p>×</p> <p>セラミックやガラスはUVCB物質のため、有害性の観点からSVHCと同一視できないため</p>	<p>○</p> <p>RoHSは鉛化合物を規制しており、セラミックやガラス中のPbOであっても、規制への該非判定の情報として伝達されるべきであるため</p>	<p>☐ 物質欄にPbOを記入</p> <p>☐ ELVやRoHSの項目においては該当する適用除外用途を選択</p> <p>☐ SVHCの項目においては「Not-Relevant」を選択</p>	<p>☐ 「成分→遵法判断変換」機能を使用</p> <p>PbOは遵法判断情報の対象物質ではない</p> <p>成分情報で次ページにあるSVHCを「Not-Relevant」として選択すれば、遵法判断情報でN判定に変換される</p>



< chemSHERPA-AI 成分情報画面の例 >

物質			任意報告	法規制					
物質	CAS番号	材料あたり最大含有率(%)	<input type="checkbox"/> 一括	ELV		RoHS		SVHC	
選択	行追加		該当	該当	適用除外	該当	適用除外	該当	物質用途
Lead monoxide (lead oxide)	1317-36-8	30	<input type="checkbox"/>	1	10(a)	1	7(c)-I	C	Not-Relevant

セラミックやガラス中のSVHCの取扱い

補足情報： chemSHERPA-AIでNot-relevantとして選択可能なSVHC

物質名	CAS番号	成分情報	遵法判断情報
三酸化ジルコニウムチタン鉛	12626-81-2	○ Not-relevantの選択が可能	○ ID=00084
三酸化二ホウ素	1303-86-2	○ Not-relevantの選択が可能	○ ID=00075
酸化鉛	1317-36-8	○ Not-relevantの選択が可能	× IEC62474対象外
ホウ酸	10043-35-3 11113-50-1	○ Not-relevantの選択が可能	○ ID=00007
四酸化三鉛	1314-41-6	○ Not-relevantの選択が可能	○ ID=00071

めっき製品の部品・材質構成について

めっき製品の部品構成について

無電解ニッケルめっきを処理したネジの部品・材質構成の例を、以下に示します。

成分情報												
	階層		部品			材質						
	名称	員数	名称	Article	員数	用途	分類記号	名称	Article	質量	単位	
	行追加		行追加			選択	行追加					
1			Electroless nickel plated screw	on	1	1.母材	R111	高合金鋼	on	1	g	
2			無電解ニッケルめっきネジ			6. (表面処理系) めっき	S002	ニッケルめっき		7.9	mg	

【ポイント】

部品欄に、めっきを処理した成形品名を記載
(めっき処理の対象を、明確にするため)

材質欄で、「母材」と「めっき」に分けて記載
(RoHSでは、めっき質量(7.9 mg)を分母として含有判定を行うため)

材質欄の「めっき」のArticleフラグをonにしない(デフォルトはnull)
(REACH-SVHC判定では、無電解ニッケルめっきネジの質量(1 g + 7.9 mg)を分母として含有判定を行うため)

Article フラグについて

Articleフラグについて chemSHERPA-AIのVer.2.0 : SVHCの判定分母の変更

■ 成分情報 画面										成形成品ツール				
製品品番	CABLE_0002-XXX			確定日時		対象エリア	IEC62474							
製品名	ケーブル2 (支給材の端子付)			製品質量	20g							※ctrl+マウススクロールで拡大縮小		
成分情報										物質情報更新	行削除	全クリア		
階層		部品		材質						物質			法規制	
名称	員数	名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位	コメント	物質	CAS番号	材料あたり最大含有率(%)	SVHC	
行追加		行追加		選択	行追加					選択	行追加		該当	物質用途
1		ワイヤー	3	1.母材	R311	銅(例,ケーブルハーネスの銅)	3.3	g		Copper (Cu)	7440-50-8	99		
2		被覆	1	2.被覆	P514	PVC	5	g		Polyvinyl chloride	9002-86-2	60		
3										Bis(2-ethylhexyl) ...	117-81-7	15	A	
4		端子	1	1.母材	R101	鉄鋼/鋳鋼/焼結合金	4.9997	g		Lead	7439-92-1	0.2	C	
5				6.(表面処理...	S008	金めっき	0.3	mg						

Ver.	SVHC判定式		判定
Ver.2.0より前	成分情報で報告されるSVHCは、 全体の製品質量に対して 、閾値1000 ppmを超えるかどうかで判定される	DEHPの含有量(5 g * 15 %) / 製品質量(20 g)	○
		Leadの含有量(5 g * 0.2 %) / 製品質量(20 g)	×
Ver.2.0以降 (デフォルト)	成分情報で報告されるSVHCは、それが属する材質の用途が母材に該当する場合、 材質質量に対して 、閾値1000 ppmを超えるかどうかで判定される	DEHPの含有量(5g * 15 %) / 被覆の部品質量(5 g)	○
		Leadの含有量(4.9997 g * 0.2 %) / 端子の材質質量(4.9997 g)	○

Articleフラグについて ユーザによるSVHCの判定分母の変更

前のスライドで示したように、chemSHERPA-AI Ver.2.0より、材質用途で母材を選択した場合は「均質材料」に近い考え方でSVHC判定が行われます。

判定分母は、成分情報の「部品」欄と「材質」欄にそれぞれ設定できるArticleフラグを組み合わせることで、全体としての「製品質量」や最小構成単位としての「部品質量」に変更することができます。

chemSHERPA-AI (作成支援) ツール 成分情報画面 ToolVersion : chemSHERPA-A2.00.00a

ChemSHERPA-AI 成形品ツール

ファイル
EXCEL出力 (参照用)
Articleフラグ表示
部品質量合計表示

0002-XXX 確定日時
2 (支給材の端子付) 製品質量 20g 対象エリア IEC62474

※ctrl+マウススクロールで拡大

成分情報 物質情報更新 行削除 全クリア

階層	部品		材質				物質			法規制					
	名称	員数	名称	Article	員数	用途	分類記号	名称	Article	質量	単位	物質	CAS番号	材料あたり最大含有率(%)	SVHC
行追加	行追加					選択	行追加					選択	行追加		該当 物質用途
1			ワイヤー	on	3	1.母材	R311	銅(例,ケーブルハーネスの銅)	on	3.3	g	Copper (Cu)	7440-50-8	99	
2			被覆	on	1	2.被覆	P514	PVC		5	g	Polyvinyl chloride	9002-86-2	60	
3												Bis(2-ethylhexyl) ...	117-81-7	15	A
4			端子	on	1	1.母材	R101	鉄鋼/鋳鋼/焼結合金	on	4.9997	g	Lead	7439-92-1	0.2	C
5						6.(表面処理...	S008	金めっき		0.3	mg				

成分情報画面右上の「ファイル」Articleフラグ表示をクリックすると、部品欄と材質欄にそれぞれ「Article」列が表示されます。デフォルトでは、すべての部品に対してArticleフラグが立ち、用途で「母材」を選択した材質に対してArticleフラグが立つようになっています。

Articleフラグについて

ユーザによるSVHCの判定分母の変更：Articleフラグの組合せ

判定分母を、全体としての「製品質量」に変更する場合

	部品No.	部品のArticleフラグ	材質No.	材質のArticleフラグ	SVHC	SVHC判定分母
製品	1	Null	1	Null	○	製品の質量
			2	Null	×	-
	2	Null	3	Null	×	-

判定分母を、最小構成単位としての「部品質量」に変更する場合

	部品No.	部品のArticleフラグ	材質No.	材質のArticleフラグ	SVHC	SVHC判定分母
製品	1	On	1	Null	×	-
			2	Null	○	部品1の質量
	2	Null	3	Null	×	-

と をミックスして用いる場合

	部品No.	部品のArticleフラグ	材質No.	材質のArticleフラグ	SVHC	SVHC判定分母
製品	1	On	1	On	○	材質1の質量
			2	Null	○	部品1の質量
	2	Null	3	Null	○	製品の質量

Articleフラグについて

ユーザによるSVHCの判定分母の変更：製品質量と部品質量

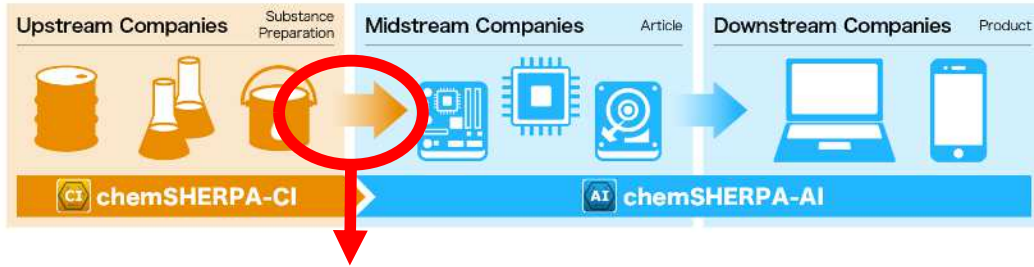
■ 成分情報 画面												成形品ツール					
製品品番		CABLE_0002-XXX			確定日時					対象エリア		IEC62474					
製品名		ケーブル2 (支給材の端子付)			製品質量		20g			※ctrl+マウススクロールで拡大							
成分情報												物質情報更新		行削除		全クリア	
階層		部品			材質						物質			法規制			
名称	員数	名称	Article	員数	用途	分類記号	名称	Article	質量	単位	物質	CAS番号	材料あたり最大含有率(%)	SVHC			
行追加		行追加			選択	行追加					選択	行追加			該当		
1		ワイヤー	▼	3	1.母材	R311	銅(例,ケーブルハーネスの銅)	▼	3.3	g	▼	Copper (Cu)	7440-50-8	99			
2		被覆	▼	1	2.被覆	P514	PVC	▼	5	g	▼	Polyvinyl chloride	9002-86-2	60			
3											▼	Bis(2-ethylhexyl) ...	117-81-7	15	A		
4		端子	on	▼	1	1.母材	R101	鉄鋼/鋳鋼/焼結合金	▼	4.9997	g	▼	Lead	7439-92-1	0.2	C	
5					6. (表面処理 ...	S008	金めっき	▼	0.3	mg	▼						



SVHC判定式		判定
成分情報で報告されるSVHCは、 全体の製品質量に対して 、閾値1000 ppmを超えるかどうかで判定される	DEHPの含有量(5 g * 15 %) / 製品質量(20 g)	○
成分情報で報告されるSVHCは、 部品質量に対して 、閾値1000 ppmを超えるかどうかで判定される	Leadの含有量(4.9997 g * 0.2 %) / 端子の部品質量(5 g)	○

成形品（アーティクル）への変換工程について

成形品（アーティクル）への変換工程について とりわけ揮発成分の取扱いについて



chemSHERPA-AIは、マテリアル（化学物質や調剤）から成形品（アーティクル）への変換工程に直目しています。

変換工程の中で揮発等により、製品中に成分が残留しないのであれば、当該成分はchemSHERPA-AIの回答に含めてはなりません。

下表の「発生する現象」に留意して、回答を作成ください。

変換工程名	使用する化学品	工程の対象	新たな成形品	発生する現象
塗装	塗料	母材	塗装された鋼板	揮発 (一部の成分が蒸発)
印刷	インク	母材	インク印刷物	
印刷・焼成	ガラスペースト	母材	パターン形成されたガラス基板	
合板接着	接着剤	母材	合板	
UV印刷	UVインク	母材	UVインク印刷物	硬化 (異なる物質に変化)
エポキシ封止	エポキシ樹脂	被封止チップ	封止半導体チップ	
めっき	めっき液	母材	めっきされた母材	析出 (変化)
樹脂成形	ABSペレット	押出成形等	ABS樹脂ケース	溶融 (多くの場合変化なし)
はんだづけ	はんだ	実装基板	はんだ済実装基板	
ダイキャスト成形	合金・インゴット	流込・固化	ダイキャスト部品	

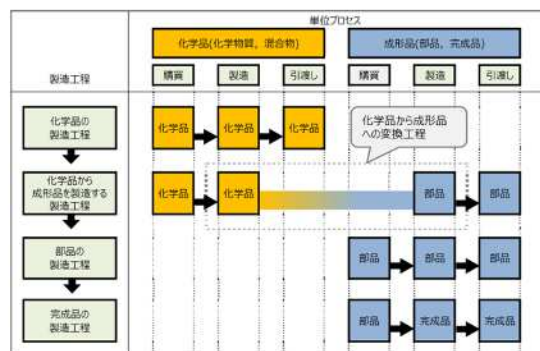
変換工程において揮発等を考慮する必要がある化学物質

製品含有化学物質の管理および 情報伝達・開示に関するガイドライン
変換工程 [化学品を成形品に変換する工程共通] (第3版) 参考資料(2021-11-12)

変換工程の製品含有化学物質管理のための参考情報
変換工程で使用されることが多く、工程における揮発などによる濃度変化・残留を考慮する必要がある代表的な物質のリスト(Ver.1.0)

【変換工程について】

● 変換工程とは、化学品から初めて成形品に変換される製造工程のこと。変換工程においては、揮発、硬化、析出、溶解などの現象によって、新たな成形品が生み出されるが、その過程において製品含有化学物質が、製造工程に投入された原料となる化学品、製造工程、製造条件などによってどのような状況にあるかを科学的に理解し、実施可能な合理的な方法で管理され、それらに基づいて製品含有化学物質情報が把握及び整備されることが必要となる。[JIS Z 7201:2017 より抜粋要約]



【製品含有化学物質管理ガイドライン第4.0版(https://chemsherpa.net/docs/guidelines)より】

● 変換工程の製品含有化学物質管理については、JAMP アーティクルマネジメント推進協議会発行の「製品含有化学物質の管理および 情報伝達・開示に関するガイドライン 変換工程 [化学品を成形品に変換する工程共通] (第3版)」を参照のこと。
https://chemsherpa.net/docs/guidelines#guideline2

【規定される本リストの使用方法】

- (1) 自社の製造工程に変換工程を含む事業者が、製造した成形品の製品含有化学物質情報を作成する際に参考とする。
- (2) 変換工程を含む製造工程で生産される成形品を調達する事業者が、供給者から入手するその成形品の製品含有化学物質情報を確認する際に参考とする。

JAMP：アーティクルマネジメント推進協議会より、成形品への変換工程において揮発等を考慮する必要がある化学物質の参考リストが公表されました(2021/12/3)

<https://chemsherpa.net/news/jamp/?p=2925>

変換工程を有する成形品のchemSHERPA回答を作成する際には、こちらのリストを参考にし、化学物質が成形品に残留するか、または濃度変化が起こるかを、いま一度見直してください。

変換工程で使用されることが多く、工程における揮発などによる濃度変化・残留を考慮する必要がある代表的な物質のリスト

化学物質名(日本語名)	化学物質名(英語)	CAS RN®	沸点
1,1,1-トリクロロエタン	1,1,1-Trichloroethane	71-55-6	74℃
1,1,2,2-テトラクロロエタン	1,1,2,2-Tetrachloroethane	79-34-5	146℃
1,2,4-トリメチルベンゼン	1,2,4-Trimethylbenzene	95-63-6	169℃
1,2-ジクロロエチレン; 二塩化アセチレン	1,2-Dichloroethylene	156-59-2	シス: 60℃
		156-60-5	トランス: 48℃
		540-59-0	MIX: 48-60℃
1,2-ジクロロエタン; 二塩化エチレン	1,2-Dichloroethane	107-06-2	84℃
1,2-ジクロロプロパン	1,2-Dichloropropane	78-87-5	96℃
1,3,5-トリメチルベンゼン	1,3,5-Trimethylbenzene	108-67-8	165℃
1,4-ジオキサン	1,4-Dioxane	123-91-1	101℃
...			
.....			
.....			

よくある間違い事例

部品		材質					物質		
名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位	物質	CAS番号	材料あたり 最大含有率(%)
行追加		選択	行追加				選択	行追加	
難燃性ポリエス テル	1	1.母材	N543	その他の硬化性 樹脂	0.1706	g	Brominated flame... SN0015 1,1'-(ethane-1,2-... 84852-53-9 Antimonytrioxide ... 1309-64-4 Toluene 108-88-3 Arsenic compounds SN0010 lead compounds SN0023		7.54 4.3 3.25 0.0008 0.0032 0.0016

JAMPの情報

製品含有化学物質の管理および 情報伝達・開示に関するガイダンス
変換工程 [化学品を成形品に変換する工程共通] (第3版) 参考資料(2021-11-12)

化学物質名(日本語名)	化学物質名(英語)	CAS RN [®]	沸点
トルエン	Toluene	108-88-3	111℃

成形品（樹脂）への変換工程で揮発し、製品に残留しないと
考えられる場合、chemSHERPA-AIの中に含めてはならない

補足：洗浄工程のchemSHERPA-AIでの取扱いについて

マテリアルから成形品への変換工程ではありませんが、関連して、洗浄工程のchemSHERPA-AIにおける取扱いについて言及します。

回路基板へのはんだ付け後の残渣フラックスを洗浄する工程を念頭に置きますが、洗浄により、フラックスも洗浄液も製品に残渣しないと一般に考えられる場合は、chemSHERPA-AIの回答に記載してはなりません。



- 1) マジックなどマークを付ける物(ラベル等も含む)の付着質量 → 付着される側の対象物の質量に対し0.1wt%を大きく下回ると想定される場合は、報告対象外としてもよい。但し、報告しなければならない化学物質は必ず情報伝達する必要がある。
例：マジック、マーカー、ボールペンなど（印刷や塗装等と異なるもの）
- 2) フラックスや中和剤など、洗浄する工程で除去される場合の付着質量 → 報告対象外とする。※洗浄工程の工程管理を適切に実施すること。
- 3) 洗浄液などの付着質量 → 除去を想定した工程設計がされている場合は、報告対象外とする。※除去を想定する工程設計の工程管理を適切に実施すること。
- 4) ソルダーレジストインク、シルクインク → 微量の場合もあるが、大面積の基板で使用される場合、使用量は微量とはいえず、かつ有機系材料が多く使用され最終製品にも残留するので報告の対象とする。
- 5) 管理対象物質を含まない場合は、報告対象外としてもよい。但し、顧客要求を把握し、供給者及び顧客とのコミュニケーションを図り、対応することが重要である。

chemSHERPA回答の作成にあたり

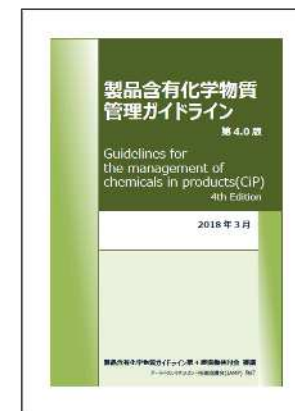
「責任ある情報伝達」

- 製品含有化学物質情報の管理は、**品質の一部**。会社の責任で情報伝達するべきもの。
発行者の他に承認者の情報が必須！

- 品質の一部とはいえ、**分析は要求しない**。

相当な注意義務を持って、当社グリーン調達調査に対応ください。
相当な注意義務を具体的に知るには、JAMP『**製品含有化学物質管理
ガイドライン**』および**関連ガイドライン**を参照ください。

<https://chemsherpa.net/docs/guidelines#guideline1>



- 企業機密情報（CBI）は重要だが、chemSHERPA**管理対象物質はCBIに該当しない**。

自社のサプライヤから製品含有化学物質情報を入手できない場合

サプライヤから何ら製品含有化学物質情報を入手できない場合、**品質要求に対応できていないサプライヤ**を用いていることを意味します。製品含有化学物質管理においては、リスクの高いサプライヤです。

それでもやむを得ない場合は、**科学的な根拠**を踏まえた上で、自社でchemSHERPAデータを作成するしかありません。例えば、鋼材をはじめとした素材なら、規格の情報から成分情報を把握することもできます。

快削黄銅 (C3601、C3602、C3603、C3604) JIS H 3250

快削黄銅 (C3601、C3602、C3603、C3604) の、JIS規格の成分表です。

合金番号	化学成分 %				
	Cu	Pb	Fe	Fe+Sn	Zn
C3601	59.0~63.0	1.8~3.7	0.30 以下	0.50 以下	残部
C3602			0.50 以下	1.2 以下	
C3603	57.0~61.0		0.35 以下	0.6 以下	
C3604			0.50 以下	1.2 以下	

最悪値管理の原則

含有率に幅がある場合、管理対象物質の含有率として**最も値が高い数値**を引用してください

C3601の場合

- Cu : 63 % を選択
- Pb : 3.7 % を選択

chemSHERPAは半角英数字の入力が既定路線のため、当社としても入力における半角英数化を推奨します

〔 chemSHERPA-半角英数化の対応予定状況 〕

ツールバージョン (公開時期)	基本情報画面		成分情報画面			
	製品名 <small>*最新有製品情報の製品名の 2.04.00以降の対応については検討中</small>		階層名		部品名	
	入力チェック	全角モード	入力チェック	全角モード	入力チェック	全角モード
2.03.00 (20年度冬) (2021年3月初旬予定)	警告	OFF	なし	OFF	なし	OFF
2.04.00 (21年度夏)	↓	OFFロック	警告	↓	警告	↓
2.05.00 (21年度冬)	エラー	↓	↓	↓	↓	↓
2.06.00 (22年度夏)	↓	↓	↓	OFFロック	↓	OFFロック
2.07.00 (22年度冬)	↓	↓	エラー	↓	エラー	↓

- 入力チェック：ツールのエラーチェック
なし：半角英数字以外の文字を含むか否かのチェックをしない。
警告：半角英数字以外の文字が含まれていた場合、警告を表示。(承認データの出力可)
エラー：半角英数字以外の文字が含まれていた場合、エラーとする。(承認データの出力不可)
- 全角モード：全角文字入力の可否
OFF：デフォルトでは半角英数字のみ入力可能。手動で入力モードを切り替えれば、半角英数字以外の文字の入力が可能。
OFFロック：半角英数字のみの入力で固定。(半角英数字以外の文字は入力できない)

製品・部品情報 製品情報 管理情報

全選択	成分	違法	製品名	製品品番
<input type="checkbox"/>			TEST-M Product	TEST-M001
1	<input type="checkbox"/> 表示	<input type="checkbox"/> 表示		
2	<input type="checkbox"/> 表示	<input type="checkbox"/> 表示		

成分情報

	階層		部品	
	名称	員数	名称	員数
	行追加		行追加	
1	TEST-M diode		1 Silicon chip	1
2			Bonding wie	1
3			Base	1
4			Coating	1

www.hamamatsu.com